

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室・ロボット製作実習室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第2回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第3回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第4回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第5回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第7回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第8回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第9回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第10回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室・ロボット製作実習室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第17回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第18回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第19回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第20回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第22回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第23回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第24回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第25回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第26回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第27回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第28回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第29回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第30回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室・ロボット製作実習室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う						
1 提出物、発表内容:35%						
2 授業態度、姿勢:35%						
3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第32回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第33回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第34回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第35回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第37回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第38回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの改訂及び制作、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第39回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	学科内報告会			
第40回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	学科内報告会			
第41回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第42回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第43回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第44回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			
第45回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	後期	教室名	302教室・ロボット製作実習室
担 当 教 員	白井 壮大	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う</p> <p>1 提出物、発表内容:35%</p> <p>2 授業態度、姿勢:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>これまでのテキスト、マニュアルなどを使用</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。				
第47回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。				
第48回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		パワーポイント	報告会用発表準備	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。				
第49回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。				
第50回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	学科内報告会の指摘事項を受け、テーマに沿って、課題の発見・解決、制作、ディスカッション、発表用資料の準備、報文集の準備ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談、発表準備・報文集準備そして指導を行う。				

